

新規 GPCR 抗体パイプラインの研究開発の加速を目的とした 682 万ドルの シリーズ C 第 3 者割当増資の実施

株式会社エヌビー健康研究所（本社：札幌市北区、代表取締役：高山 喜好 以下、「当社」）は、第3者割当増資による682万米ドルのシリーズC資金調達を行いましたのでお知らせ致します。

当社は、アンメットメディカルニーズが高い重症疾患に対する革新的な医薬品の探索、開発、商業化を目指すバイオテクノロジー企業です。今回の資金調達により、抗GPCR抗体パイプラインの前臨床・臨床開発を更に加速させ、独自のGタンパク質共役受容体（以下、「GPCR」）に対する抗体創薬プラットフォーム（MoGRAA[®]ディスカバリーエンジン）を活用した新たなGPCR抗体シーズ探索を拡大させます。

今回の資金調達は、新規出資者であるTIANJIN HAIHE ASYMCHEM PHARM / BIOMED INDUSTRY FUND L.P.（中国を拠点とするベンチャーファンド、以下、「HAPI」）が主導、既存株主である株式会社アニヴェルセルHOLDINGSが追加投資を行っています。HAPIは、Trinity Innovation (Beijing) Investment Management Co. Ltd.（「TIF」）によって運用管理されています。さらに、HAPIからは、複数のグローバル大手製薬企業で研究開発、事業開発を担当した経験を持つ、Dr. Xukun (David) Wang が当社取締役として加わります。

当社の創業者兼代表取締役である高山喜好は、「新規ならびに既存出資者からご信頼いただき投資いただいたことに大変感謝しております。今回の資金調達により、自己免疫疾患、線維症、重症ウイルス感染症の治療を目的とした前臨床開発抗体を臨床開発ステージに進めることができ、新たなGPCR抗体シーズ探索を継続的に拡大させることも可能になりました。」と述べています。

TIFおよびTrinity Innovation Bioventure Singapore（シンガポールを拠点とするベンチャーキャピタル、以下、「TIBS」）のマネージングパートナーであるDr. Xukun Wang は、「NBHLの強固な研究開発能力、経験豊富なマネージメントチーム、機能性抗GPCR抗体を創出する独自プラットフォームとそれを活用した広範な医薬品開発に大変感心しました。NBHLとの信頼関係は、COVID-19の世界的なパンデミックの中、長期間にわたる相互の誠実なコミュニケーションを通じて築かれてきました。私たちは、これから当社が保有するアジア太平洋地域における豊富な人的ネットワークとリソースを活用して株式会社エヌビー健康研究所のさらなる成長をハンズオンサポートします。今回の日本企業への初めての投資が、さらなる日本のバイオ企業との協業の道を開くことを期待しています。」と述べています。

HAPIとTIF / TIBSについて

HAPIは、2019年に、TIANJIN HAIHE VENTURE FUND L.P.、ASYMCHEM（中国天津に拠点を持つ世界的な医薬品開発製造受託会社）および製薬およびバイオテクノロジー分野への投資に特化したTIANJIN CHINA-SINGAPORE ECOCITY によって共同で設立されました。HAPIは

設立以来、CSO（医薬品販売受託会社）、CRO（医薬品開発受託会社）、さまざまな得意分野（低分子化合物、生物製剤、特定分野の臨床開発など）を持つバイオテクノロジー企業に対して出資を複数実現してきており、TIF/TIBSチームが運用管理しております。

TIF/TIBSは、バイオテクノロジーに特化したベンチャーファンドを運用管理する会社です。最先端の生物医学技術、革新的創薬および開発プラットフォーム、新しい製薬ソリューションを創造する企業にグローバル投資することを目的としています。詳細については、<https://www.trinity-fund.com>および<https://trinity-fund.com.sg>をご覧ください。

株式会社アニヴェルセルHOLDINGSについて

株式会社AOKIホールディングスのグループ会社であり、主に有価証券の保有及び不動産賃貸事業を主要業務としております。

所在地：東京都港区

代表者：代表取締役社長 青木 柁允

資本金：1億円

設立：1965年7月1日

株式会社エヌビーイー健康研究について

株式会社エヌビーイー健康研究所（NBHL）は、呼吸器疾患、慢性炎症、COVID-19 やインフルエンザなどの重症ウイルス感染症に対する革新的な医薬品の創出、開発、商業化に特化した 2006 年創業のバイオテクノロジー企業です。NBHL は、G タンパク質共役型受容体（GPCR）を標的とする機能性抗体の創出に関する専門知識を持ち、人々の健康に役立つ GPCR を標的とした創薬の新しい分野を開拓しています。同社の詳細については <https://nbhl.co.jp/jp/>をご覧ください。

G タンパク質共役型受容体（GPCR）とは

生体内にある約 400 種類の GPCR は細胞膜上に存在するタンパク質グループです。細胞膜を 7 回縫うような構造をしており、さまざまな外的刺激を受け取り細胞内に伝達する受容体として働きます。近年 GPCR は様々な疾患との関連性が次々に示されています。GPCR を標的とする全新薬の世界売上高は 2020 年で 7 兆 9536 億（全体の 12.7%）、売上品目は 113 品目（全体の 19.0%）にのぼり、医薬品の標的として非常に重要とされています。